



# 岐大通 2013

2013 J.League Division2

第2節 ガンバ大阪 戦

7/3(水) 19:00~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C岐阜大好き通信(岐大通)

7/3号

編集発行:

『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく & 吉田鑄造

today's guest : ガンバ大阪 2012 J1 9勝 1分 1敗 勝ち点 38:17位

1979年のヤンマークラブ(日本リーグ・ヤンマーディーゼル~現:セレッソ大阪~のBチーム)廃部を受け、監督と一部選手が移って翌年に松下電器産業サッカー部として発足。奈良県リーグ2部からスタートし、6年で日本リーグ1部に駆け上がり、創部10年めの1990年には天皇杯優勝。1993年・Jリーグ創設時のいわゆる“オリジナル10”のメンバーであり、当初は成績も芳しくなかったが、2005年についてJ1初優勝。以後、コンスタントに好成績を残し、ナビスコ杯優勝1回、天皇杯優勝2回。2008年にはアジアチャンピオンズリーグ(ACL)を制し、同年のクラブワールドカップで3位。その後もACL出場の常連となる。しかし、2012年には西野監督の勇退とともに急激に成績が悪化、得失点差がプラスながら17位でシーズンを終えJ2に降格となる。(吉田鑄造)

前節、ギラヴァンツ北九州に快勝したF C岐阜。今シーズンの前半戦最後となる大事な試合で勝てたのは、非常に大きい。今季初の先制点を挙げ、2点差以上での勝利は、なんと2010年11月28日の栃木SC戦以来。残念ながら、2位だった群馬も勝利したため、最下位脱出とはいかなかったが、現在は21位に鳥取(勝ち点19)、20位が群馬(勝ち点19)、そして19位が北九州(勝ち点20)と、勝ち点差が3以内の(つまり1試合で順位が入れ替わる可能性のある)チームが増えた。1位の富山(勝ち点21)と18位の熊本(勝ち点21)も十分に射程圏内だ。6月に入り、3勝1分1敗と調子を上げてきたF C岐阜。今シーズンの4勝は、どれも複数得点を挙げてのもので、開幕から7試合連続で無得点と、得点力不足に泣いていたのが信じられないくらいだ。チーム戦術が浸透し、また、勝つことで選手たちに自信がついてきたのが結果となって現れてきているのだろう。とはいえ、油断は禁物。長いシーズンは半分を折り返したばかり。今後も、気を引き締めて、ひたむきに走り抜いて、勝利に貪欲に、最後まで戦い抜いて欲しい。

さて、後半戦最初の対戦相手は、現在首位のガンバ大阪。言わずとしれた、“J創設”オリジナル10のひとつで、「J2に降格したのが謎」と言われるほどの強豪チームだ。日本代表の“不動の司令塔”#7MF遠藤保仁と#15今野泰幸を擁し(現在、レギュラークラスの日本代表が2人もいる国内チームはガンバだけだ)、他にも綺羅星のごとく、才能あるスター選手がずらりと揃っている。その証拠に、前節の徳島戦でも、遠藤、今野をコンフェデ杯(の後の休養)で欠き、現在リーグ得点王のレアンドロと家長を累積警告で欠き、つまりレギュラー4人が不在な状況でも、2-0で快勝している。今節は、レアンドロと家長は6月末で契約が切れたため退団しているが、遠藤と今野は復帰すると見られ、そのガンバに岐阜がどのように戦うのかが注目ポイントだ。攻撃力が持ち味のガンバ。これを守る岐阜のDF陣は、今節#3デズモンドが累積警告で出場停止。その穴を誰が埋めるのか、怪我で戦線を離脱している#4田中や#5関田の復帰が間に合うのか、そして重厚な攻撃を防ぎきることができるのか、が大きなポイントだろう。また、前回対戦した5/30のアウェイ戦では、ほぼ「何もさせてもらえなかった」けれど、ガンバの守備に隙が空く時があり、その隙を攻撃陣が上手く突いて得点を奪うことができれば、勝機も見えてくる。

また、ガンバ大阪の長谷川健太監督とF C岐阜の行徳浩二監督は、2005年~2010年の間、清水エスパルスの監督とユース監督として、共に仕事をした仲だ。(ちなみに、現在はガンバ大阪のアシスタントコーチである小井土正亮コーチは、当時も清水で長谷川監督の元でアシスタントコーチを務めていた、岐阜市出身の元Jリーガーだ。)お互いをよく知る監督同士の対戦、采配も大きな見所だろう。

中4日のハードスケジュールでの強豪との対戦。選手たちのコンディションも相当厳しいだろう。でも、逆に言えば、その厳しい状況はガンバも同じ。ガンバのサポーターも大挙してやって来ることが想定されるが、ここはホーム・長良川。無様に負けることは許されない。この後半戦いきなりの大一番、僕らの大きな声援と拍手で岐阜の選手たちを後押しして、ガンバをぎゃふんと言わせてやろうじゃないか。(ささたく)

## 2013J2 順位表 第2節

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績(岐阜から視て)

1	G大阪	46p	+24	40	16	A
2	神戸	44p	+17	38	21	A
3	長崎	36p	+4	24	20	H
4	京都	35p	+13	36	23	H
5	千葉	35p	+11	33	22	H
6	栃木	34p	+7	29	22	A
7	山形	33p	+14	42	28	H
8	福岡	31p	+2	21	19	A
9	岡山	30p	+5	24	19	H
10	札幌	29p	+1	24	23	A
11	東京V	28p	+5	25	20	A
12	水戸	27p	-2	23	25	A
13	横浜FC	26p	-3	20	23	H
14	松本	26p	-3	19	22	A
15	徳島	26p	-7	26	33	H
16	愛媛	24p	-6	22	28	A
17	富山	21p	-11	18	29	H
18	熊本	21p	-13	25	38	H
19	北九州	20p	-7	25	32	H
20	群馬	19p	-13	18	31	H
21	鳥取	19p	-16	18	34	A
22	岐阜	17p	-22	16	38	---

## 次回 HomeGame

第25節 アビスパ福岡戦

7/20(土) 19:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

## 【第2節】岐阜3-北九州

キックオフ早々の水野の鮮やかなミドルシュート。プロ初ゴールということで喜び方が初々しかったな(笑)。また3点目の染矢のシュート、あの場面は樋口が頑張ってくロスを入れて清本が綺麗にヒールで落とした時点で勝負ありだったかな。非常に運動性の高いゴールで、ウチでこんなゴールを決められるのかと(笑)。

スコアこそ3-1だったが、池元のPKを決められていたら、また後半のクロスバーに当たった富士のシュートが決まっていたらと思うと、そしてイージーなミスから失点とPKを与えていることを考えると、決して完勝というわけではないし、課題は山積していると思う。あとは行徳さんの選手交代のタイミングかなあ…。決して積極的な手の打ち方をされる感じではないので。

しかしながら新井は90分やれるメドはついたし、秀人や関田、ハンジェら怪我人が戻ってくればそこそこやれる感じにはなってくるかと。また移籍ウィンドウがあれば、それなりの動きがあるであろう。6月を3勝1敗1分で乗り切ったFC岐阜これから暑い夏に向けて、更なる反攻を期待したい。

さあ今日はG大阪戦 今日から日本代表の遠藤と今野が復帰ということで、いろいろと注目の一戦になるであろう。厳しい戦いになるのは間違いないが、ここは我らのホーム長良川。走って走って走りまくって、相手をギャフンと言わせてやろう！

(岐阜の誇り)

アディショナルタイムに入る前から始まったアイダ(オッ、オ～、オオオ、オッオッオ～(中略)エフシギフッ!エフシギフッ!エフシギ～フというチャント)。ソメのダメ押しが決まって、しかもそれが樋口、タクミとの美しい流れからのゴールだったんで、歌いだされるのもわかるが、「いや、さすがにまだ早いんじゃないの?」とためらってしまって、結局終了の笛が鳴らされるまで歌えなかったチキン野郎はボクです(笑)。

今季初のホーム連勝。しかも、前節があんな負け方だっただけにそれを払拭できた印象。しかも、開始早々の泰輔のファンタスティックなミドルからスタートして、またまた残念なミスからの失点。そして、ちょっと不満の残るPKを、もはや神認定レベルの時久が軽く!セーブしてくれたおかげで、北九州に持ってかれそうだった流れを再び引き寄せることができた。ありがとう!省吾!!

失点シーンを含み守備にはいくつかとところどころに不満は残るけれども、攻撃の面ではたくさんいい場面、可能性を見せてもらえたように思う。樋口の労を惜しまない走りに加え、美尾ばかりか森安も攻撃に絡めるようになってきたし、セットプレーでの新井の高さは得点の匂いを感じさせる。そして、この日の染矢は言うことなし。攻守ともに輝いていた。マンオブザマッチを選ぶなら、PKを止めて流れを引き寄せた時久も候補だけど、やっぱり染矢だろうなあ。

それから、ものすごくワクワクさせてくれた泰輔。先制点もさることながら、後半の始めあたりで見せてくれたあのトラップ。バクスタ側のライン際。後ろからフィードされたロングボールを右足でいとも簡単に止めて、さりげなく次のプレーに移行した場面。間近で見ている思わず声が出てしまった。交替するまで、十分走れていたし、どうやらボチボチJ2にカラダが馴染んできたかな?さらに、交替で出てきたタクミもイイ出来だったし、これで柴原の闘争心にも火が点いてポテンシャルを發揮してくれるようになると、攻撃に関してはものすごく楽しみになってくる。染矢、美尾、樋口に森安、新が絡んで、幅と奥行きのある攻撃。これが妄想でなく早く現実のものとなるように願っているよ。

勝ったとはいえ、順位は変わらないまま前半戦が終了。し

かも、後半戦はアタマから強豪との連戦が続く。それでも、昨季はことごとくやられていた順位の近い負けられない相手には勝っている。折り返し直後の2試合で勝ち点を奪えれば苦境を脱することが可能。強豪とはいえ同じJ2。実際勝ち点を奪った下位のクラブもいるワケだし、決して臆する必要はない。しかも、前半戦での試合は負けている。このまま、やられっぱなしで終わるワケにはいかない。今度は最初から「アイダ」を歌う。負けられない戦いは、まだまだ続く。(くん、)

祝・ホーム2連勝!! いやー、この勝利は本当にデカイ。群馬も勝ったから最下位脱出とはならなかったけど、下位グループの差を縮める価値ある勝利。それに、今季の観客最高人数5,211人だった前回の長崎戦に続き、観客数3位(2位は開幕戦5,006人)の4,801人での北九州戦での勝利。前回の試合終了直前の逆転勝利もいいけれど、ちゃんと先制点を奪って、(一旦追いつかれたけれど)突き放し、トドメを刺して2点差で勝つてのは、(『長良川劇場』的要素を含みつつも)実に力強い勝ち方だった。複数得点差での勝利は、なんと2010年のホーム最終戦・メドウでの栃木戦以来、2年半振りってんだから、そりゃ確かに久しぶりだよな、試合中に歌うアイダ(勝った時に岐阜サポが歌うチャント。つまり、試合中に歌うということは敵味方に「よし今日は勝ったぞ(だからきちんと終わろう)」と言うような意味合い)も...(苦笑)。

試合開始4分の、#28水野泰輔の先制ゴールは素晴らしかった。ちょうど僕は泰輔のシュート軌道を真後ろの位置から見えていたので、その弾道がはっきり見えた。撃った瞬間に「あ、こりゃ入るわ」って判る美しい軌道。さすがは(201年のユース選手権で優勝した)名古屋ユースの#10移籍したきた当初はフィジカル的にまだ弱いかな?って思ってたけど、今日の試合では当たり負けしなくなってきたし、ガムシャラに走ってた。それに、ゴールした時は素直に感情を爆発させてたし、試合後のインタビューもニコニコだったし、なにより、後半には僕ら岐阜サポを「もっと応援してくれ」とばかりに煽ってくれた。そーいえば鳥取戦でも勝利後の挨拶で、ラインダンスして大はしゃぎしてたっけ...(笑)。こういう選手は、サポに人気出るよね。少なくとも僕は大好きだ(笑)。今後も素晴らしい活躍でチームに貢献してほしいと思う。

それにしても、「神様、仏様、時久様」のありがたみときたら。デズモンドがPKを献上しても「でもまあ、時久なら止めるよね」って雰囲気になって、それでホントに止めちゃうなんて、まさに「守護神」。これで今季止めたPKが、7本中6本(普通は、7本中6本は決められる)ってんだから、神がかっているとしか思えない。それでいて、「PKは特に得意ではありません(笑)」だなんて、他のGKに失礼じゃないか(笑)。なんか、時久のせい(?)で「PKってのは止めるもの」って、おかしい感覚になっちゃったじゃないか!おかげで染矢がPK蹴る時に「ホントに入るのかな...」って、もの凄く不安になっちゃったじゃないか!(苦笑)

とはいえ、問題点がなかった訳でもない。特に守備。失点シーンは簡単なミスからボールを奪われてのものだった。(そしてまた、ゴールを決められたのが「岐阜の救世主」池元だってんだから、余計に悔しい。それにしても池元には、去年も一昨年も決められてる。まさかJFL昇格のお礼にゴールを献上してるのか?(苦笑)他にもフワフワとしたというか経験不足というか、危ういプレーが目立った。クロスバーに救われたシーンもあったし、やはり、DFリーダーの#4田中秀人が負傷で欠場しているのが響いてるんだろうか?ここは勝っても猛省して、守備の立て直しをしっかりとやってほしい。

開幕から3ヶ月で1勝しかできなかったのに、6月には3

## 【ユース】2連勝！

勝できて、選手たちに自信がついてきたんだと思う。サッカーってのは本当にメンタルなスポーツで、その自信が僅かなプレーの差になり、それが大きく試合の結果に繋がってくる。エンジンがかかってきた(と考える)FC岐阜。シーズン後半戦に向けて、反撃の狼煙をあげよう。これからは、もっと勝ってほしいよね！期待してますよ！

(ささたく)

「『アイダ』歌うの、早くない？」と思った。2-1とリードして後半の終了近く、樋口 清本 染矢と流れるようにパスで相手を崩してのゴールで3-1。歓喜の輪が解けて、試合が再開するとバックスタンドの岐阜サポーターから『アイダ』が歌われ始めた。FC岐阜の“勝利”のテーマ、歌劇『アイダ』の「凱旋行進曲」。リードしていても、「まだわからない」という時には歌われない。バックスタンドの岐阜サポーターも2点差になって勝利を確信したのか。でも、帰宅して録画で確認したら『アイダ』開始は8分だった。やっぱり早いよ(笑)。

でも、理解は出来た。2点差をつけて後半アディショナルタイムを迎える試合展開は、2010年のホーム最終戦、栃木戦を4-2でモノにして以来、実に2年半ぶり。サポーターも『アイダ』を歌いたくて歌いたくてしょうがなかったのだろう。

試合開始数分での水野の目の覚めるようなミドル。今シーズン初の“先制点”。しかし、前節・札幌戦での破綻したDFは修正しきれたわけではなく、バタバタした守備からしっかり詰めていた池元に押し込まれて同点に。その後は、デズ・益山・新井の3バックの裏を狙って執拗にスピード勝負を仕掛けられる、ガマンの展開。そんな中で、微妙な判定で北九州にPKが与えられる。チャージに行ったデズの軸足はエリア外、かかった足はライン上。最初、主審はエリア外からのFKを指示したように見えたくらい。しかし、ここで本領発揮(?)したのがGK時久。今季、これまで6回の被PKで1回しか決められてない彼はこのピンチでもしっかりとセーブしてしまう。これで阻止率85.7%。ちょっとあり得ない数字だ。

後半のなかばになると北九州の中盤の運動量が明らかに落ち、セカンドボールが拾えて岐阜のチャンスが増える。森安 樋口 森安のワンツーから惜しいミドルもあった。そして今度は岐阜にPKが与えられる。前半の北九州のPKと同じく、「チャージに行ったDFの軸足はエリア外、かかった足はライン上」。岐阜のPKは染矢がしっかり決めて勝ち越しに成功。終了近くには冒頭に書いた綺麗に崩しての染矢の2ゴール目。そして歓喜の『アイダ』が始まった。

決して「完勝」ではないし「快勝」でもないし「劇的」でもない。かといって「薄氷の勝利」でもない。いわば「普通の勝利」。2位・群馬も勝ったために最下位でのシーズン折り返しとなったが、リーグ下位勢との差はずいぶん縮まった。ここに来て、ようやく3バックでの攻守もカタチが見え始めた。スペースを作るようなパスワークも出来るようになってきた。作るのに2試合もかかってしまったのは問題だが(苦笑)、振り返っても過去の戦績が変わるわけではない。反撃はこれからだ。(吉田鑄造)

我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は、6月30日にG1リーグ第6節関商工戦が長良川球技メドウで有りました。この日は午後のみ観戦に行く事が出来ました。ぎふチャンで選手たちが観戦を呼びかけていた影響も有ってか、思った以上の観客が見守る中試合は行われました。

前半は0対0のスコアレス。試合のペースはFC岐阜ユースが掴んでいたと現場で聞きました。後半は関商工ボールでKO。どちらかと言うとFC岐阜ユースの方が相手ゴール前にボールを運べてるかな?という印象でした。そして後半15分、FC岐阜ユースが右サイドからゴール前に蹴りこんだボールに対して敵味方混戦状態の中で気が付いたら関商工のゴールネットが揺れていました。オウンゴール気味に見えましたが、夕方に更新されたFC岐阜の公式サイトではFC岐阜ユースの選手の得点になっていましたね。おめでとう！

その後はFC岐阜ユースがボールを支配する展開が多く、早いうちに追加点が欲しいな~と思っていた早々の後半23分に相手の一瞬の隙をついてDFの裏に抜け出す事に成功したFC岐阜ユースの10番が関商工のGKとの一対一を冷静に流し込んで技有りのゴールで追加点。FC岐阜ユースは2対0と点差を拓ける事に成功します。

その後は個々の局面でボールの支配に成功して相手ゴール前に持ち込もうとするFC岐阜ユースと、相手のミスでボールを抑えたらカウンター狙いで一斉に前線に向けて走る関商工は双方とも追加点を挙げる事が出来ず、タイムアップ。FC岐阜ユースは2連勝を成し遂げました!(拍手&嬉し涙)

FC岐阜ユースの選手達は自信を持ってプレーする事が出来、それが得点・結果に繋がったのが良かったと思います。一方の関商工は学校行事の為にコンディション不良だったとの話もありましたが、残念な結果となりました。

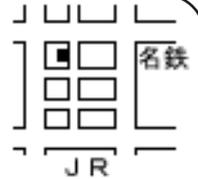
これでFC岐阜ユースは2勝1分4敗の勝ち点7となりました。この記事を書いている時点(日曜夜)で他の試合の結果が不明な為にはっきりとは判りませんが、まだ順位は7位のままの筈ですが、大分上位との差が縮まっていると思われる。

次節は7月6日(土)に岐阜工業との対戦になります。貪欲に勝利を目指せ!応援しているからな!!FORZA!FC岐阜ユース!!(シュナ)

「いらっしやいませ」より「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から  
徒歩3分。

休：月曜(定休日が変わりました!)



本庄工業株式会社

<http://www.honjp-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23

tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど...

心の花が咲く...

何も無い店だけど...

心癒される...

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

